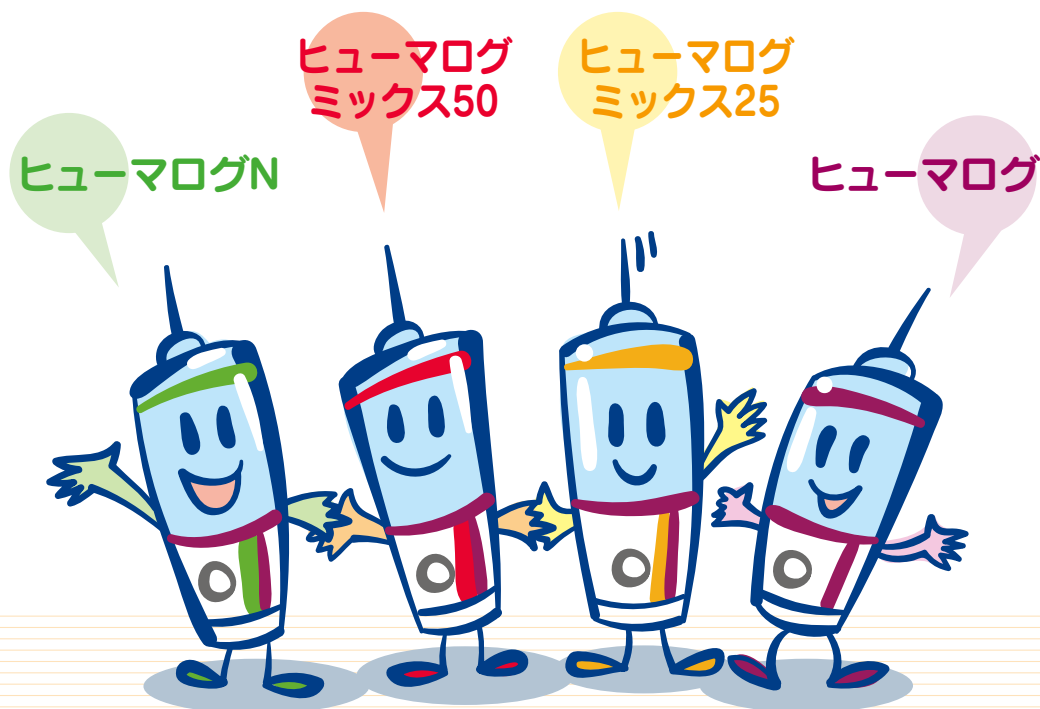


PART

2

「ヒューマログファミリー」の 作用と特徴

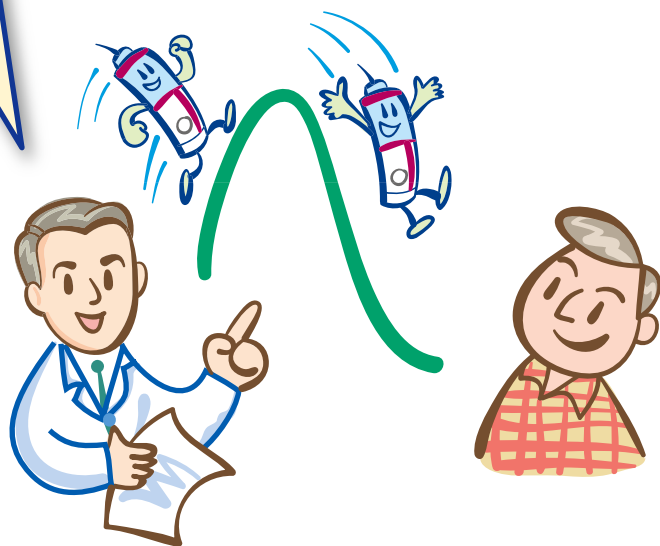
監修：順天堂大学医学部内科学 教授 河盛隆造



CONTENTS

- 超速効型インスリン「ヒューマログ」の作用
- 超速効型インスリン「ヒューマログ」の投与時間と特徴
- 超速効型インスリン「ヒューマログ」の作用時間の目安
- 治療時のインスリンの動きを比較してみよう！
- 新しい仲間「ヒューマログミックス製剤」登場
- 「ヒューマログミックス製剤」の役割
- 「ヒューマログミックス製剤」の作用と特徴
- 「ヒューマログN」の作用と特徴
- 「ヒューマログファミリー」の種類と作用時間
- 「ヒューマログファミリー」の使い分け

ヒューマログは、速効型インスリンよりも
効果が**速く**現れ、消失も**速やかな**
「超速効型インスリン製剤」です。



従来の速効型インスリンに比べて

- 作用の立ち上がりが速い
- 作用の消失が速やか

注射後15分以内に効果が出るので
“食直前”に注射します。

今までの速効型インスリンでは、食事の30分前に注射することが必要でしたが、「ヒューマログ」は、血液中へすばやく吸収されるので、**食事までの待ち時間がなくなります。**

食事の直前に
注射をしてください！



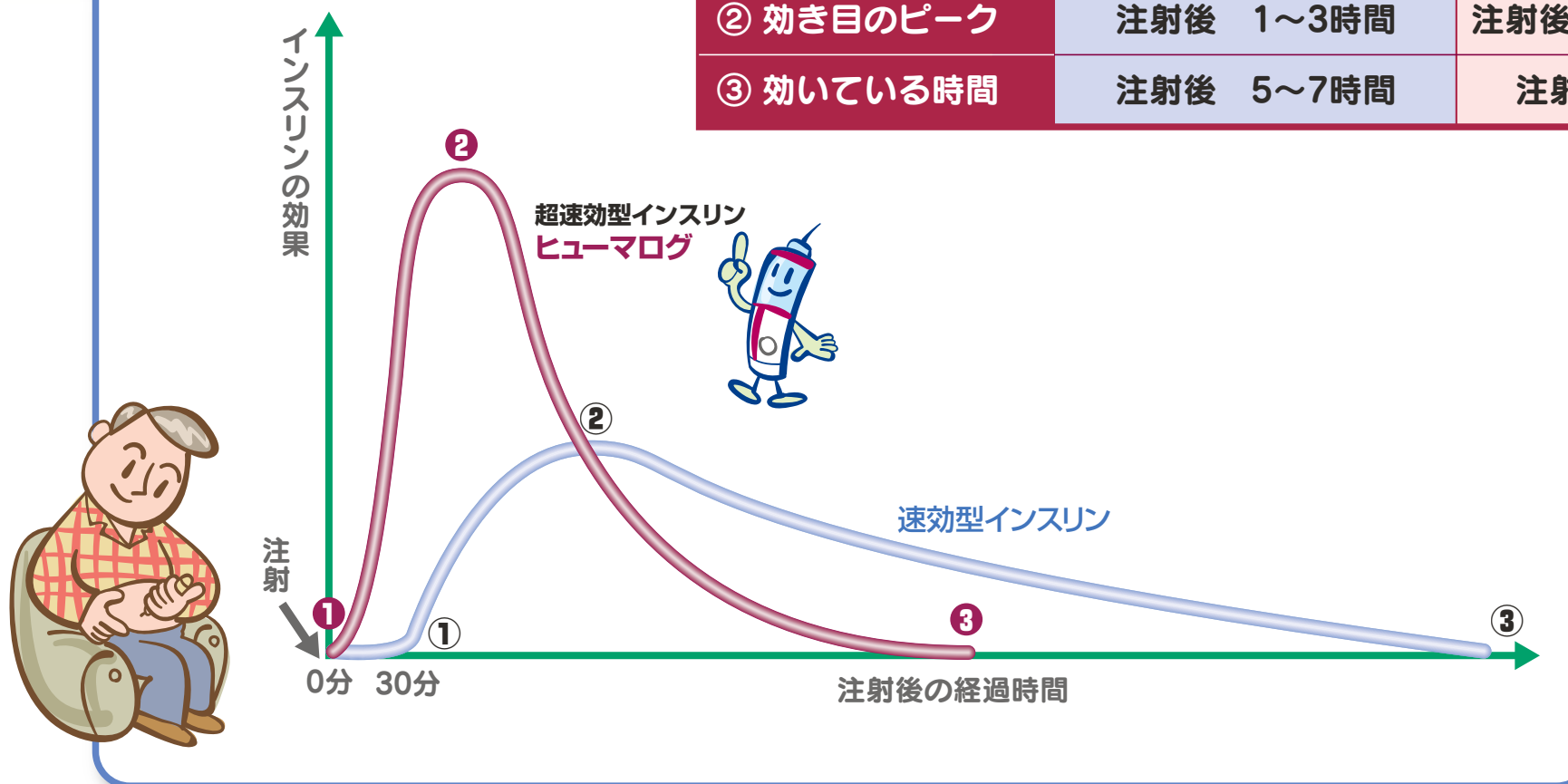
ヒューマログは、速効型インスリンに比べて
血糖降下作用が長引きません。



速効型インスリンと超速効型インスリンの違いは？

	速効型インスリン	超速効型インスリン
注射する時間	食事前30分以内	食直前（15分以内）
① 効きはじめる時間	注射後 30分～1時間	注射後 15分以内
② 効き目のピーク	注射後 1～3時間	注射後 30分～1.5時間
③ 効いている時間	注射後 5～7時間	注射後 3～5時間

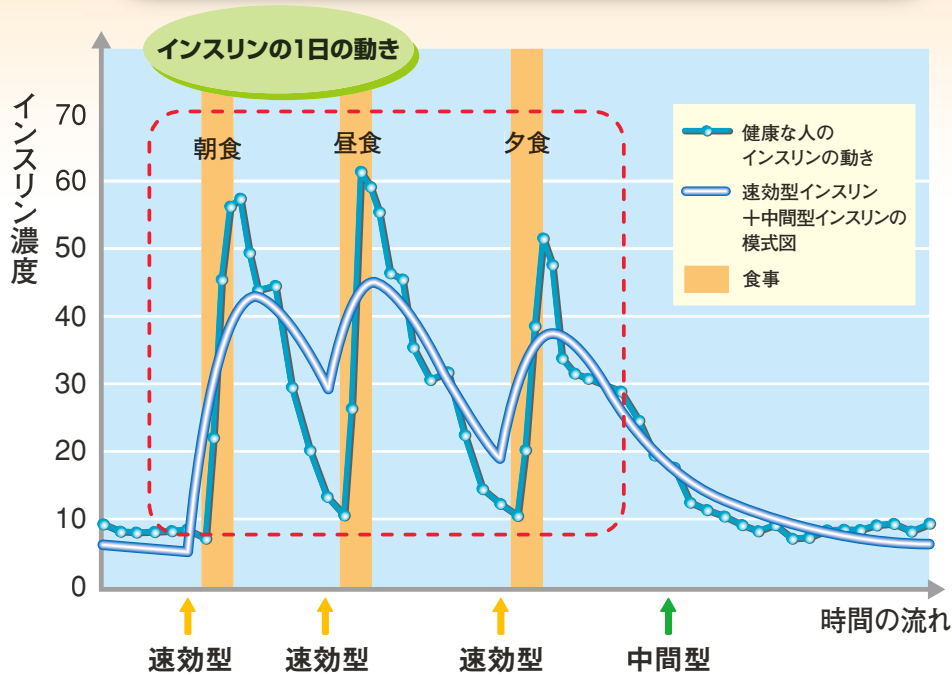
● 模式図



治療時のインスリンの動きを比較してみよう!

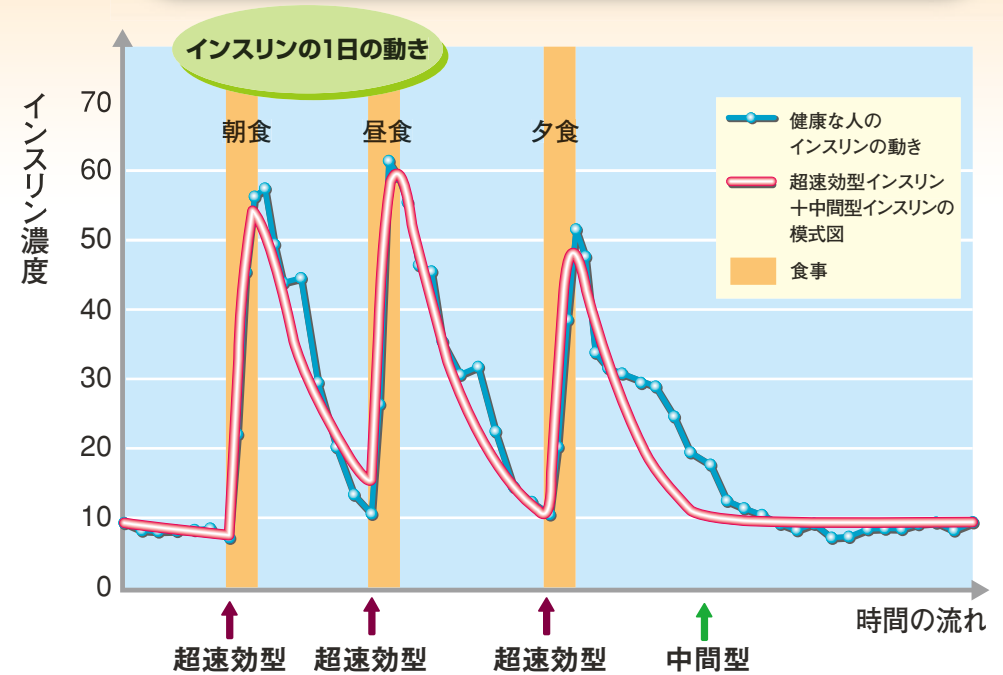
PART 2 「ヒューマログファミリー」の作用と特徴

速効型インスリンを用いた場合



健康な人のパターンと比べるとズレがあります

超速効型インスリンを用いた場合



ズレが是正されて健康な人の分泌パターンに近づきます!



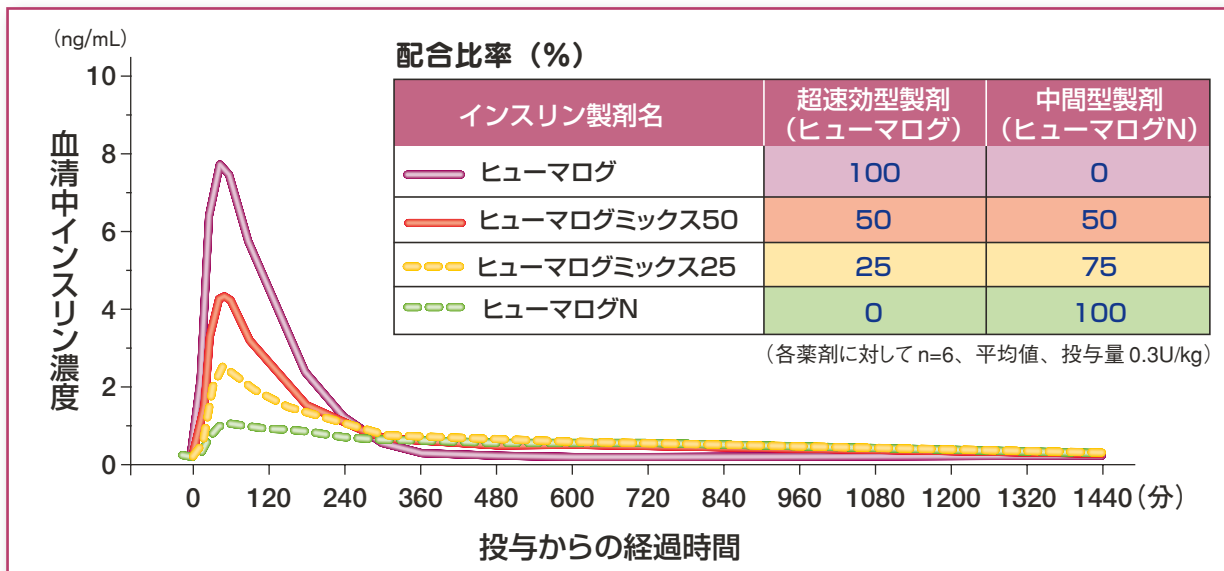
小田原雅人:インスリン治療の実際. Mebio, 2001, 18(2), 20-21. より改変引用

●ヒューマログミックス製剤とは…

超速効型インスリン「ヒューマログ」と中間型インスリン「ヒューマログN」があらかじめ混合されている**新しいミックス製剤**です



ヒューマログファミリー各製剤投与後の血中インスリン濃度の推移



患者さんの状態に応じ、さらに選択の幅が広がりました

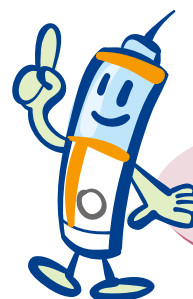
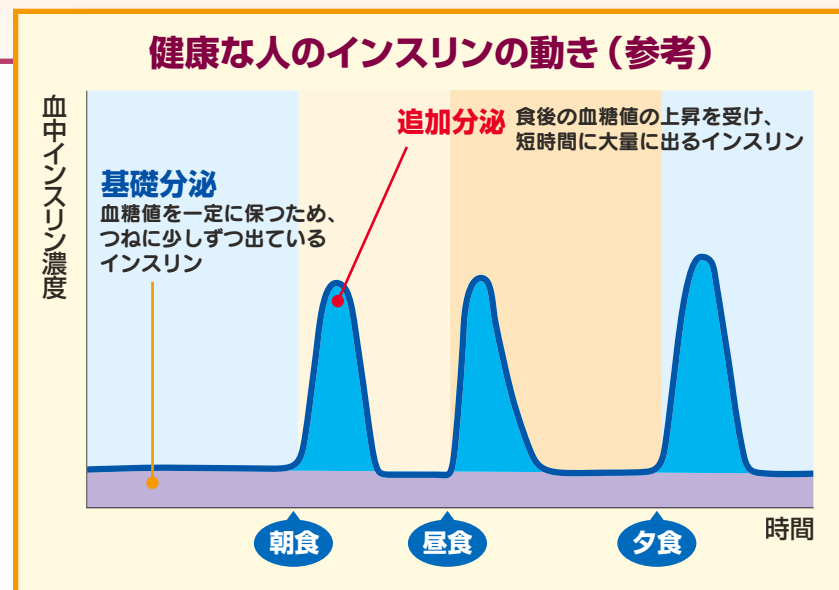
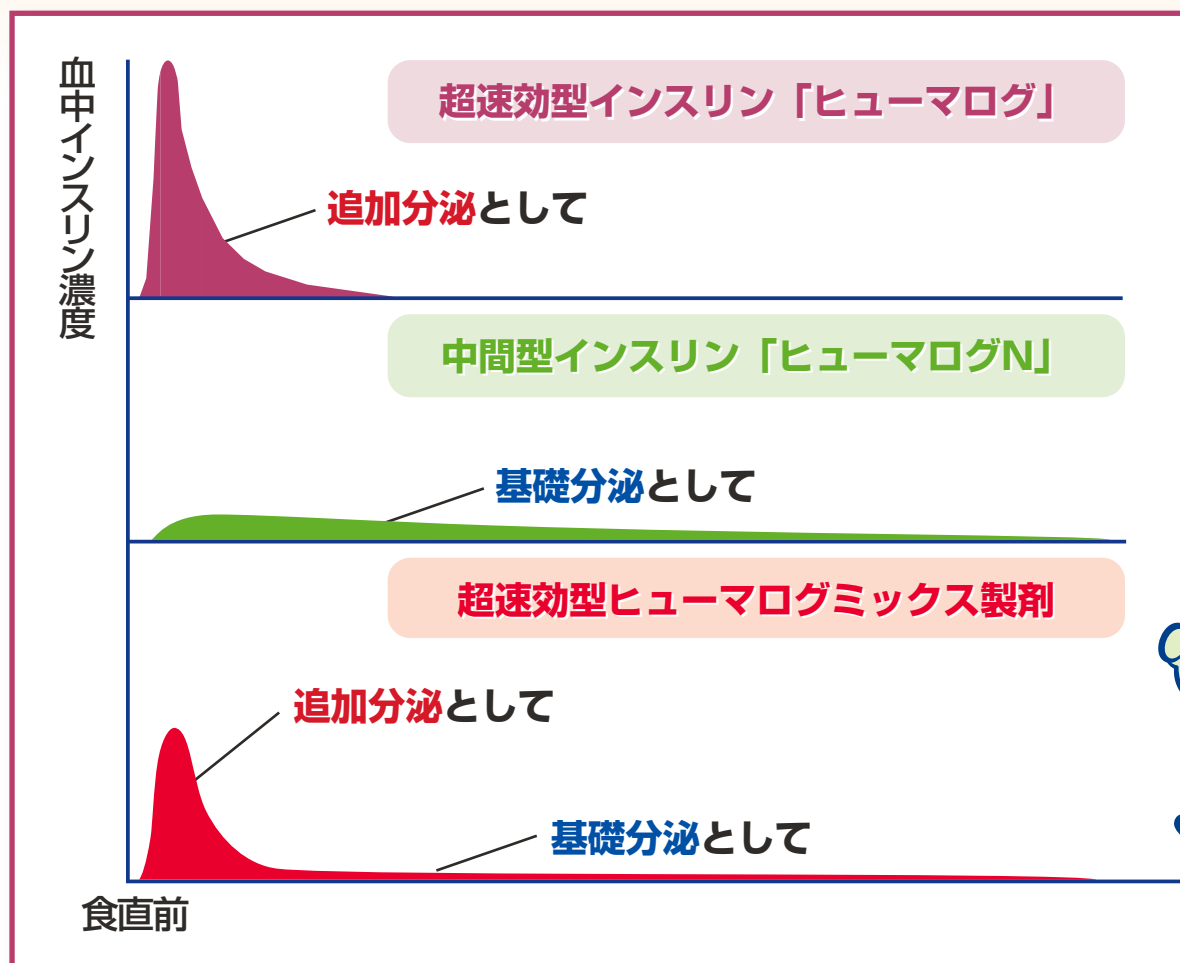


浦江明憲ほか:臨床医薬. 17(10):1427-1437,2001

「ヒューマログミックス製剤」の役割

PART 2 「ヒューマログファミリー」の作用と特徴

超速効型ミックス製剤は、不足している“**基礎インスリン**”と食直後に必要な“**追加インスリン**”の2つの作用を備えています。



1本で2役

ヒューマログミックス製剤と従来の混合製剤を比較すると…



ヒューマログミックス製剤の特徴

- 1) 食後高血糖を改善します
- 2) 低血糖発現頻度を上げることなく、HbA1c値を改善します
- 3) 注射タイミングが食直前です (15分以内)

- より生理的なインスリン作用を持つ製剤です
- 食直前(15分以内)に注射ができます



中間型100%

中間型製剤「ヒューマログN」とは…





- ヒューマログと組み合わせて使う新しい中間型製剤で、“基礎インスリン”としての作用を備えています

作用動態の比較(モデル)	注射する時間	効きはじめる時間	効き目のピーク	効いている時間
<p>新しい中間型「ヒューマログN」 従来の中間型</p>	食直前 (15分以内)	注射後 約30分～1時間	注射後 2～6時間	注射後 約18～24時間

- 超速効型インスリンと同様、食直前(15分以内)に投与します

「ヒューマログファミリー」の種類と作用時間

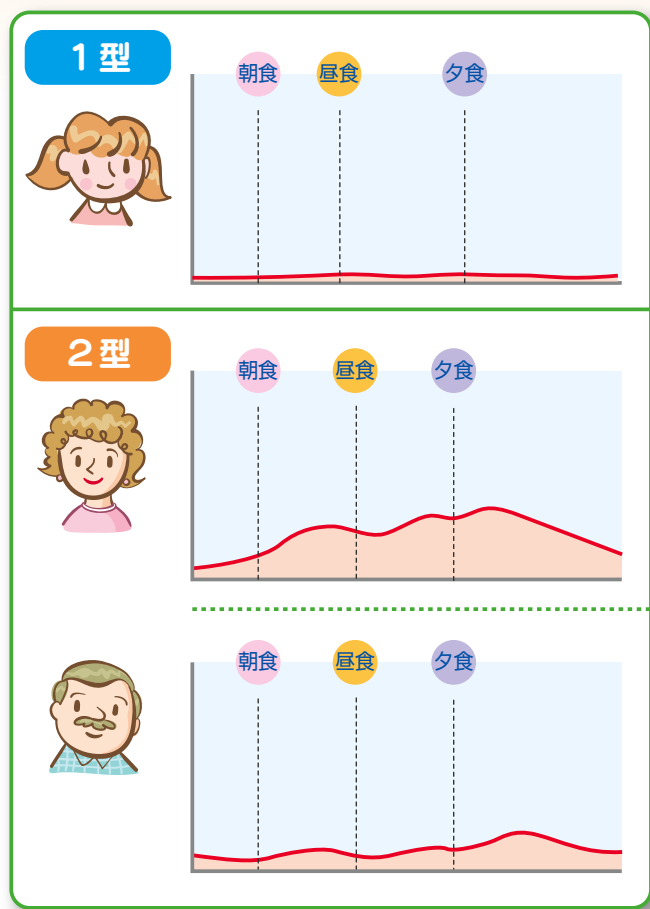
PART 2 「ヒューマログファミリー」の作用と特徴

		作用動態	混合比率	効きはじめる時間	効き目のピーク	効いている時間
ヒューマログ製剤(インスリンリスプロ製剤)	超速効型製剤	ヒューマログ 	超速効型100%	注射後15分以内	注射後 30分～1.5時間	注射後 3～5時間
	混合型製剤	ヒューマロンミックス50 	超速効型50% + 中間型50%	注射後15分以内	注射後 30分～4時間	注射後 18～24時間
		ヒューマロンミックス25 	超速効型25% + 中間型75%	注射後15分以内	注射後 30分～6時間	注射後 18～24時間
	中間型製剤	ヒューマログN 	中間型100%	注射後 30分～1時間	注射後 2～6時間	注射後 18～24時間

「ヒューマログファミリー」の使い分け

糖尿病患者さんのインスリン分泌状態は、人によってさまざまです

健康な人のインスリンの動きに近づけるために、その人に最も適した製剤を選んで使います。



(イメージ図)

